

『景観と住環境を考える ネットワーク千葉』は

平成 21 年 2 月 14 日 設立集会を行ないました。

朝日新聞はこれを取り上げ「首都圏千葉版」に下記のとおり掲載されました。

結成されたネットワーク千葉「略称 千葉ネット」は千葉県内で多発するマンション紛争を無くす為に都市計画法の改正に向け草の根の活動をして参ります。

景観・住環境を守る

市民ネット設立

船橋で集会

建物の高さ規制の早期制定を船橋市に求めてきた市民団体が呼びかけ、「景観と住環境を考えるネットワーク・千葉」の設立集会が14日、同市であった。同市や習志野、市川、流山、千葉各市などからマンション問題に取り組む市民や議員40人が集まった。

都市計画コンサルタントで東京都港区の区長を務めた原田敬美氏が講演。米国や欧州の宅地制度に詳しい原田氏は建物の色や建材なども制限を受ける欧州の例を紹介。「私権が制限され、公権が尊重される欧米。私権尊重の一方、公権は緩い日本」と、都市づくりへの姿勢の違いを解説した。

また、同市で今月10日告示された建物の高さ規制は、全国的流れになっている現状を紹介。規制への土地所有者の抵抗感に対し「規制が強まれば住宅地は美しくなり、地価が上がって資産価値は高くなる」と述べた。